

2022年1月18日
一般財団法人日本情報経済社会推進協会

メールのなりすまし被害を未然に防ぐための最新動向と課題 無料オンラインセミナー開催 ～なりすまし対策を可視化する手法「S/MIME」を活用した対策事例紹介～

[プライバシーマーク制度](#)を運営する、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（所在地：東京都港区、会長：杉山 秀二、以下 JIPDEC）は、巧妙化する標的型攻撃やビジネスメール詐欺（BEC）被害事例、迷惑メールとなりすまし対策事例等を紹介するオンラインセミナーを開催します。

テレワークがビジネススタイルとして一般化し、事務手続きのデジタル化が進む一方で、悪意のある第三者によるなりすましメール被害は毎年増加しており、だれでも被害を受ける可能性があります。

また、安全なファイルの送信手段として多くの企業が利用していた PPAP（パスワード付き zip ファイルと、そのパスワードを別送する方法）が、マルウェア攻撃に悪用されると指摘され、中央省庁、企業が使用を廃止する動きもみられます。

このような中、メールのなりすまし被害を未然に防ぐ、または PPAP の代替手段として、信頼できるメールを可視化する S/MIME^{※1}が注目されています。

そこで、本セミナーでは、S/MIME を用いた最新のなりすまし対策の動向と事例をご紹介します。

基調講演で PPAP の代替手段を比較紹介

基調講演では、東京電機大学研究推進社会連携センター顧問、客員教授の佐々木 良一先生に、PPAPの代替手段策について、また S/MIME の活用メリットと課題についてご講演いただきます。

パネルディスカッションテーマは「これからのなりすましメール対策」

パネルディスカッションでは、フィッシングに関する情報収集・提供等を行っているフィッシング対策協議会、S/MIME の仕組みを自動化しサービス「CertCONNECT」を提供している九電ビジネスソリューションズをパネリストに迎え、PPAP の名付け親である PPAP 総研 大泰司 章氏とともに、今後のなりすましメール対策について、議論を交わします。

ぜひ、この機会にメールのなりすまし被害や対策の最新動向を把握し、自社の対策の参考としていただくよう、なりすまし対策に関心のある方のご参加をお待ちしております。

※1 S/MIME

電子証明書を付いた電子メールのなりすまし対策技術の一つ。送信メールに電子署名をすることで、受信者側はその本人から送信されていることが確認でき、また改ざんを検知することができる。送信内容を秘匿する暗号化をすることもできる。

■ オンラインセミナー開催概要 ■

主催：一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

共催：フィッシング対策協議会

日時：2022年2月18日（金） 15:00～17:15（入室開始 14:45）

タイトル：〔JIPDEC セミナー〕 S/MIME 最前線「なりすましメール対策の現状と課題
－S/MIME を活用したなりすまし対策事例紹介」

開催方法：Zoom ビデオウェビナー

定員：500 名

参加費：無料

対象：メールのなりすまし対策に関心のある組織・個人の方

内容：

基調講演：「PPAP 廃止に関する動向と対策案の検討」

東京電機大学研究推進社会連携センター 顧問 客員教授 佐々木 良一氏

パネルディスカッション：「これからのなりすましメール対策」

モデレーター：PPAP 総研 大泰司 章 氏

パネリスト：フィッシング対策協議会 証明書普及促進 WG 主査

（サイバートラスト株式会社） 田上 利博 氏

フィッシング対策協議会 証明書普及促進 WG 副主査

（GMO グローバルサイン株式会社） 稲葉 厚志 氏

九電ビジネスソリューションズ株式会社 ビジネスソリューション事業部

ビジネスソリューション第2部 渡辺 雅久 氏

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 セキュリティマネジメント推進室

主査 高倉 万記子

各パネリストより、S/MIME の普及啓発活動、電子証明書標準化動向、S/MIME 事例、行政機関のメールマガジンのなりすまし対策状況調査結果についてもご紹介します。

詳細・申込方法：[こちら](#)からお申し込みください。追って Zoom 視聴用 URL をお送りします。

■ 本件に関するお問い合わせ

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

広報室

お問い合わせフォーム https://www.jipdec.or.jp/jipdec_inquiry.html